



シルバー親睦会第二（平針北学区）

会長 長田 幸久

地域と共に

日頃我々は高齢者同士が集まって仲良く活動しているのが常であります、たまには地域のためになるボランティア的なことをすることもあります。その内のいくつかを紹介させていただきます。



コロナが始まってからしばらくしてのこと。学校の先生方の仕事量が膨れ上がり大変だという話が出ていたので、我々の中で都合のつく人が小学校に出掛け、授業後の教室の消毒をお手伝いしようということになりました。作業をしていると先生方はもちろん、顔を合わせる生徒さんからも明るい声で「ありがとうございます」と声をかけられ、こちらの方が元気をもらいました。半年間という短い期間でしたが、時には先生方とお話する機会もあり、貴重な経験をしました。

コロナ禍でもがんばっている新学期初登校の児童を主要通学路交差点で見守り、励まし、学校正門前では区役所から駆け付けたマスコット「かぼっち」が我々と一緒に声掛けをするという学区の活動に積極的に参加。子どもたちは思いがけない出迎えに大喜び。彼らが健やかに成長することを願ってやまぬ爽やかな早朝でした。

平針北小学校のトワイライトスクールは毎年グラウンド・ゴルフ大会を開催するので、我々が指導兼お手伝いをさせてもらっています。ほとんどの子どもさんはプレーをした経験がなく、ルールもわからないのではぼー対一の付きっきりとなることから、ゲームが終わる頃には本当に親しくなります。皆は孫と一緒に遊んだ感じで「疲れたが楽しかった」と言い、充実したひと時を過ごします。

数年前、学区の要請によりコミセン前の郷之島公園の愛護会（清掃、除草活動）を引き受けることになりました。ここでは我々が毎週3回グラウンド・ゴルフをやらせてもらっていることから、皆喜んで(?)参加しています。ゴミ拾いはたいしたことではないのですが、根っこから引き抜く草取りは大変です。土壌が適度に湿気を保っている時に作業をせねばならず、無理のない範囲でがんばっています。おかげで現在公園は綺麗になっていて、地域の利用者からも感謝されています。

これからもできるだけ地域に溶け込んだ活動をして、なくてはならない団体だと思われるようにしていきたいと考えています。